

別紙資料

1. 現場見学会での取り組み事例

①ものづくりを体験する

- ・ コンクリート構造物を見学し、構造物の材料となるコンクリートについて学習する。コンクリートに含まれる材料を学習し、実際に練り混ぜや敷き均し、硬化現象を体験する。
- ・ 研究所にて水理実験を見学し、実験を通じて自然現象への理解を深めるとともに、構造物の設計にどう生かされているかを学習する。関連する構造物も見学し、より理解を深める。

②土木を考える

- ・ 同じ川にかかる複数の橋梁を見学し、それぞれの歴史や役割の違い、構造の違いなどを学習する。学習したことをもとに、自分で架けたいと思う橋梁を創作する。
- ・ 地すべりに関する構造物や施設等を見学し、地すべりの原理を学習する。原理は模型などにより体験として学習し、それをもとに地滑り対策を試作する。
- ・ オープンキャンパス土木学会
[土木学会 土木広報センター 市民交流グループ 土木の魅力グループ \(jsce.or.jp\)](http://www.jsce.or.jp)
<https://committees.jsce.or.jp/cprcenter0103/>

③暮らしの中の土木を感じる

- ・ 水辺の土木構造物を見学し、その役割を身近に感じ、学習するとともに、河川敷のごみ拾い等の活動を通じて土木構造物の保全につながる活動をする。
- ・ 水源であるダムや河川を見学した後、浄水場で飲める水になるまでの過程を、それぞれの水質などを比較しながら見学することで、蛇口から出る水がいろいろな人や技術によって確保されていることを理解する。

2. 見学会の開催

- ・ 見学会開催にあたり、参加者の募集や会の運営など見学会に関わることすべて主催者でご対応ください。
- ・ 土木学会 110 周年記念事業実行委員会では、認定した見学会の宣伝を土木学会ウェブサイトやフェイスブックなどで行います。

3. 見学会後の対応

- ・ 詳細は、見学会を開催いただく主催者に連絡しますが、見学会時の写真、見学会概要、簡易な報告書（土木の役割・意義・魅力について伝えたこと等）などを提出いただきます。
- ・ 上記のデータを使用して事務局で 110 周年記念式典で展示するパネルを作成し、会場に展示いたします。展示会場の都合により、見学会の開催数が多い場合はすべての見学会のパネル作成が行えない場合があります。ご了承ください。
- ・ 記念式典で展示するパネルとは別途に、提出いただいたデータを用いて現場見学会の事例集を作成し、土

木学会ウェブサイトなどで公表いたします。

4. 注意事項

- ・ 見学会の開催にかかる費用は主催者の負担でお願いいたします。また、見学会の参加費の徴収の有無については主催者に一任いたします。
- ・ 応募内容および見学会開催後に提出いただくデータは、110周年記念事業現場見学会での展示物や、土木学会が制作する出版物、展示会、WEB サイト等で使用させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 応募にあたり、特許の取得や意匠登録など、知的財産権は応募者に帰属します。
- ・ 応募または見学会開催後の提出資料に必要な要素（映像、新聞・雑誌記事やイベント実施時の写真など）については、すべての権利者に事前の同意を得た上で、かつ第三者が権利を有するものを使用する場合は、応募者の責任であらかじめ必要な措置を講じてください。
- ・ 個人情報保護の関係上、応募書類に記載された内容は、110周年記念事業現場見学会に関連する目的以外で用いることはありません。
- ・ その他、ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。

5. 応募方法

- ・ 下記の申込フォームよりご応募ください。

➤ <https://forms.office.com/r/RbwuxFe3vk>

QRコード



- ・ 申込フォームが利用できない方は、問い合わせ先のメールアドレス宛にご連絡ください。応募フォームをメールにて送付いたします。